

ガイドブック

アーティスト コロドコ (Kolodko) の銅像



時が経つにつれて、ミハーイ・コロドコはさらに多くの彫刻を制作し、現在ではブダペストの街角に10~15体ではなく、30体以上の小さな像が隠されている。私と母はこれらの彫像を実際に訪れ、周りの景色や彫像そのものが素晴らしいと感じた。このガイドでは、ブダペストにある3つの彫像とその周辺の情報を紹介する。

これらの小さな彫刻はどのように作られているのだろうか？



大きな彫刻を作る際、彫刻家はまず小さなスケールで作ることが多い。もしその大きな彫刻を依頼する人がいなければ、小さな彫刻の材料は無駄になってしまう。そこで、コロドコ・ミハーイはウグヴァールの通りに小さな彫像を隠して置くことを思いついた。その後、ハンガリーに来てから、こうしたミニ彫刻が登場するようになった。ブダペストでは、

ほとんどのミニチュアフィギュアはハンガリーの古いアニメからインスピレーションを受けているとされている。

始まり

ハリー・フーディーニ (Harry Houdini)



ハリー・フーディーニはエリック・ワイ
スという名前で、ハンガリー系アメリカ
生まれの脱出術師であり、イリュージョ
ニストであり、スタントマンでもあっ
た。このミニチュア彫刻は、有名なイ
リュージョニストが頭から足まで鎖でつ
ながれ、手錠をかけられ、南京錠でつな
がれた状態で、自分の職業を実践してい
る様子を描いている。

コロドコ・ミハイ本人が代表を務めるウジホロドのパンノニアNGOは、ハンガリー
総領事館を通じて、この彫像をエリザベト地域に寄贈した。

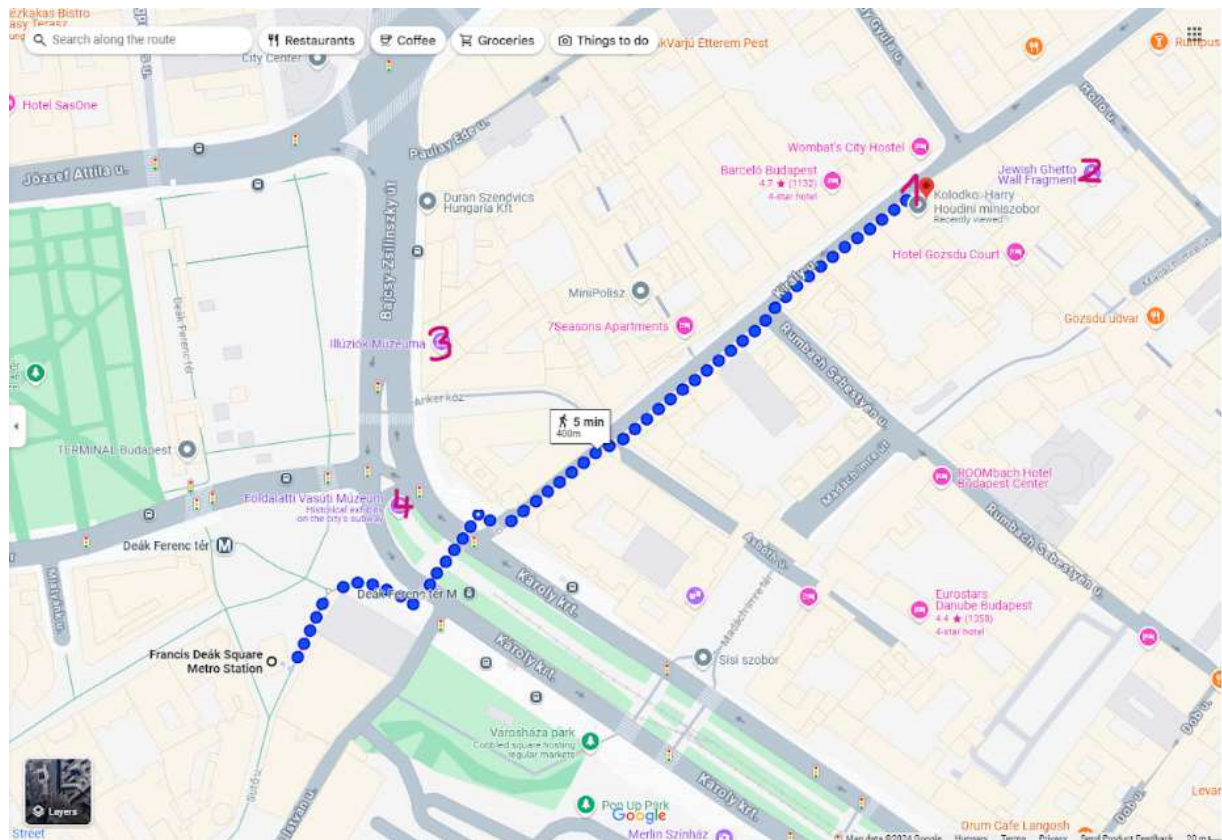
ハリー・フーディーニ (Harry Houdini)



ハリー・フーディーニは1874年にブダペ
ストで生まれ、1926年にアメリカのデト
ロイトで亡くなった。フーディーニはハ
ンガリーからアメリカに移住したラビの
息子で、ウィスコンシン州アップルトン
に定住した。彼は若い頃にサーカスの空
中ブランコ乗りとなり、1882年にニュー
ヨークに移住してからはボードビル・
ショーに出演したが、あまり成功しな
かった。

フーディーニは1900年頃から、鎖、ロー
プ、手錠、牛乳瓶、棺桶、牢屋など、さ
まざまな鍵のかかった容器を使った大胆
な脱出術で国際的に有名になった。

地図



1. ハリー・フーディーニの銅像 (Budapest, Király u. 11, 1075)
彫刻はK11芸術文化センターの1階にある。
2. ユダヤ人ゲットーの壁記念碑 (Budapest, Király u. 15, 1075)
3. 幻想美術館 (Budapest, Bajcsy-Zsilinszky út 3, 1065)
4. 地下鉄博物館 (Budapest, Erzsébet tér 14, 1051)

交通

Deák Ferenc tér駅で下車

- 市電47号線、49号線、48号線
- 地下鉄M3
- 100Eバス

そこから徒歩約5分

知っていますか？

この小さな彫像は瞬く間に人気を博し、何度か盗まれたことがある。

他の情報

ユダヤ人ゲットーの壁記念碑

1944年11月、ドイツ占領下でゲットーが設置され、ユダヤ人とされる市民が強制的に閉じ込められる法令が出された。

12,000,000人のキリスト教徒が追放され、40,000人のユダヤ人が強制的に移送され、12月初旬にゲットーが設置された。城壁と柵に囲まれた半キロメートル足らずの地域に約7万人が詰め込まれ、移動の自由も財産も、そして何よりも人間としての尊厳も奪われた。ゲットーは、ソ連軍が到着し解放するまで続いた。ゲットーは、ソ連軍が到着し解放するまで続いた。

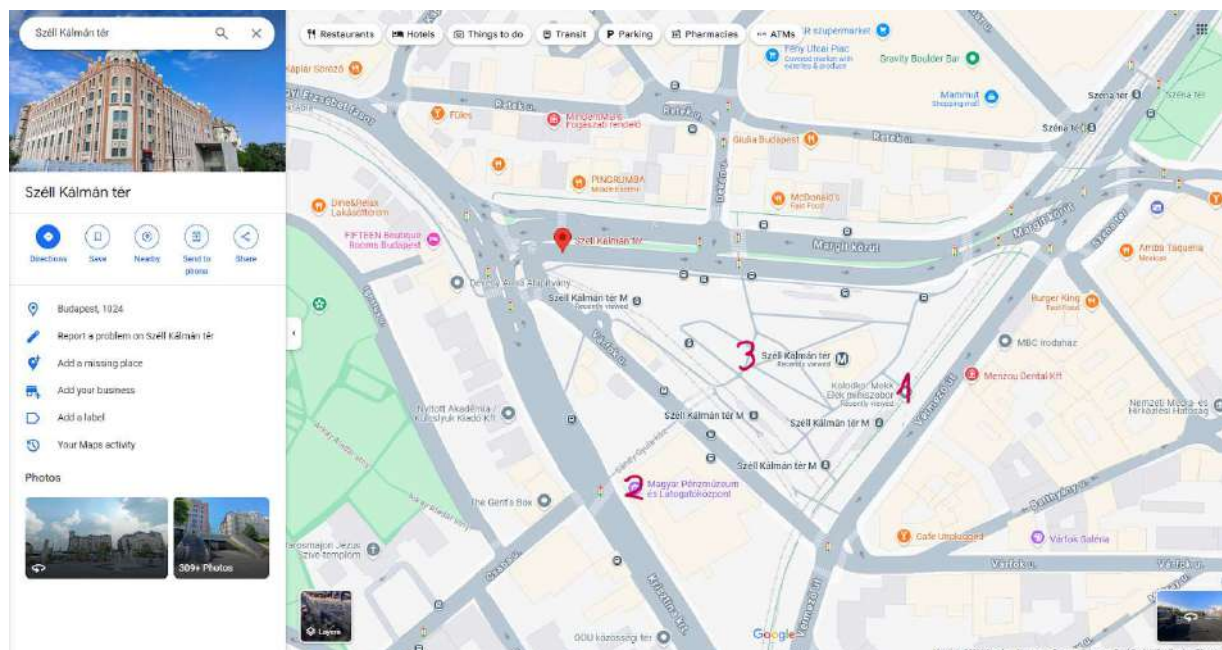


マック・エレック (Mekk Elek)



『マック・エレック』は1974年から1975年にかけて放送されたハンガリーのテレビ人形劇番組で、主人公はヤギのマック・エレックである。マック・エレックは便利屋をしているふりをしているが、実際はほとんど何も知らない。

地図



1. マック・エレックの銅像 (Széll Kálmán tér, Budapest, 1024)
2. ハンガリー貨幣博物館とビジターセンター (Budapest, Krisztina krt. 6, 1122)
3. モスクワ広場の噴水 (Budapest, 1024)

交通

- M2または地下鉄赤線
Széll Kálmán térで下車
- 市電4号線、6号線、17号線
Széll Kálmán térで下車

知っていますか？

この像の手には「モスクワ広場」と書かれた標識がある。プレートを見ると、この広場は1951年から2011年までモスクワ広場と呼ばれていたことがわかる。

他の情報

マック・エレック・ザ・ハンディマン (Mekk Elek, az ezermeister)

この番組は1973年に制作され、ヨゼフ・ロムハーニがユーモラスなテキストを担当し、キャラクターとセットはデザイナーのイヴァン・コウスが手がけた。イヴァン・コウスの伝記を読むと、彼は58年間セル・カールマン広場の3番地に住んでいたことがわかる。彼がデザインしたメルヘンチックな人物の像は、かつて彼の住んでいた場所の近くにある。

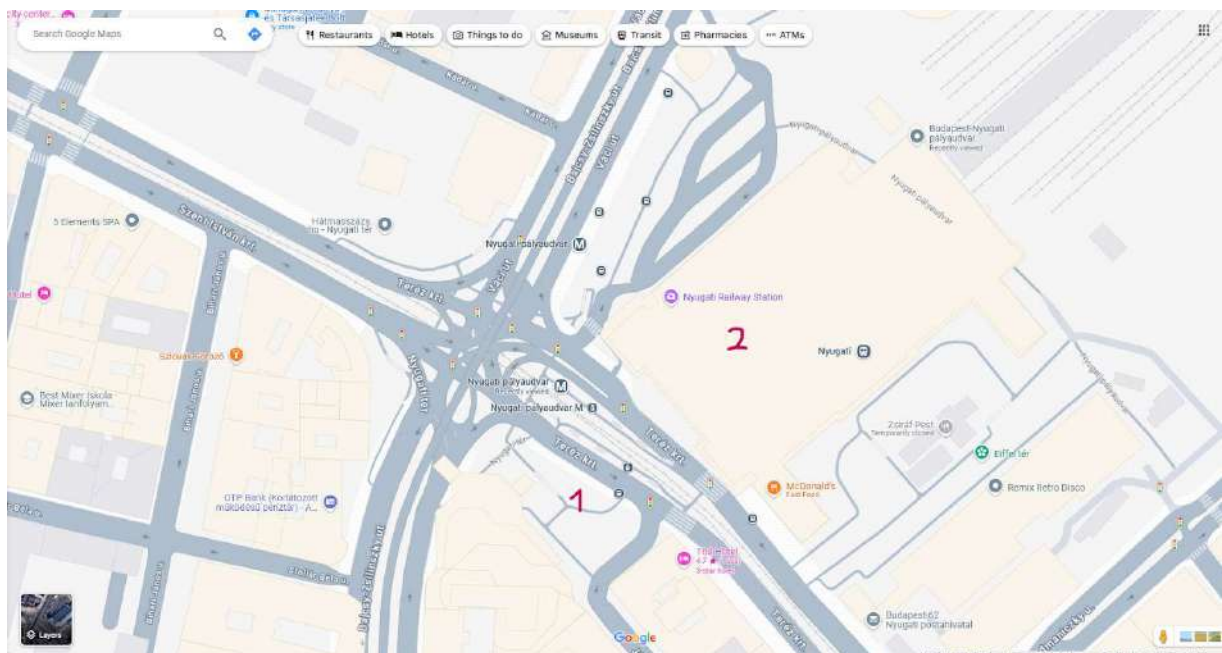


シュカーラ・コーペー (Skála kópé)



シュカーラ・コーペーは小さな足、マッチ棒のような手を持つキャラクターで、スケール生協の広告の象徴である。このキャラクターは映画にもなり、スカラ座デパートの典型的な広告塔となった。

地図



1. シュカーラ・コーペーの銅像 (Budapest, Nyugati pályaudvar, 1062)
2. ニュガティ駅 (Budapest, Nyugati pályaudvar, 1062)

交通

- 市電4号線、6号線
Nyugati pályaudvar駅で下車

- 地下鉄M3またはブルーライン
Nyugati pályaudvar駅で下車

知っていますか？



彫刻は旧スカラ百貨店の向かいの花壇の端にある。

他の情報

シュカーラ・コープ (Skála Coop)



Skála-Coop（通称シュカーラ）は、ハンガリーの小売業界で伝説的な大手企業であった。最初の店舗は1976年に開店し、スカラ百貨店は品質と選択肢の象徴となった。

ニュガティ駅 (Nyugati pályaudvar)

ニュガティ駅はブダペストで最も古い鉄道駅であり、オーストリアの建築家アウグスト・W・デセールとパリのギュスターヴ・エッフェル事務所によって設計された。



終わり

ブダペストには、このような小さな彫像が30体以上隠されているとされている。もしブダペストの街を歩いているなら、まだ誰も見つけていない像を見つけるかもしれない。探してみる価値はあるだろう。他の彫刻を見たい場合は、英語[サイト](#)でその住所をチェックできる。